

会 議 録

会議の名称	令和2年度第2回地域福祉推進協議会（書面会議）
開催日時	令和2年11月6日（金）
委員氏名	喜多祐荘（学識経験者） 小野清士（民生委員児童委員協議会） 遠藤伸一（開成町身体障害者福祉協会） 明石功香（心身障がい児者と家族の会かるがも） 小川周作（老人クラブ連合会） 河野愛子（開成町保護司・更生保護女性会） 村岡謙治（開成町教育委員会） 坪井千秋（ぱたぱたママ） 高田幸男（自治会長連絡協議会） 西田 統（小田原保健福祉事務所足柄上センター）
議 題	（1）福祉コミュニティプラン（素案）について

(書面会議 意見)

委員名	委員意見
A 委員	<p>(1) 福祉コミュニティプラン 素案について</p> <p>① 第1章</p> <p>○「地域福祉とは」の文章とイメージ図はとても分かりやすい内容になっています。</p> <p>○めざすものが「地域共生社会の実現」なので、イメージ図の中に「地域共生社会」という語句があった方が良くと思います。</p>
B 委員	<p>○「3. 計画の位置づけ」10行目 『福祉の向上を目指す「福祉分野の上位計画」として位置づけます。』は、何の下位計画に対して位置づけなのでしょう。</p>
C 委員	<p>○イメージ図が誰にでもわかるよう表現されていてとても良い。</p> <p>○趣旨、位置づけもわかりやすい。</p>
D 委員	<p>○2ページ「1」2行目 「幸せ」⇒「幸せなくらし」 (「祉」はゆきとどいていることを意味する。)</p> <p>○2ページ「1」9行目 「行政等」⇒「事業者・行政等」 (なぜなら、医療、介護、福祉は資源として「事業者」に含まれる。)</p> <p>○8ページ(2)3行目 「さまざまな」⇒「さまざまな」</p> <p>○「福祉コミュニティ(共助文化)」⇒「福祉コミュニティ(共助共生文化)」 (コミュニティは、共に生きる場を必須とする)</p>
E 委員	<p>○4ページ下から5行目が「社会福祉推進協議会」となっています。「社会福祉協議会」ではありませんか。</p>
F 委員	<p>○地域福祉のイメージが入り、まず一目で分かりやすく読みやすくなったと思います。新しい計画についてもイメージに記載されていて参照しやすい。</p>
G 委員	<p>○7ページ 計画の期間で「開成町障がい福祉計画・障がい児福祉計画で第6期・第2期計画、第7期・第3期計画の意味が不明です</p>
H 委員	<p>○2ページ 地域福祉のイメージについては、新たにイラストを描き起こしとしているならば、せっかくですので、図中の語句について、町を開成町に変えろとか、自治会という表記をいれてほしい。</p>
I 委員	<p>○表現についての意見</p> <p>3ページ目、2. 計画の趣旨 13行目 「開成町を取り巻く状況」⇒「開成町における地域の環境」</p> <p>4ページ目、(1)の10行目、福祉に関する分野別の上位計画となっていますが、6ページでは上位計画との表現ではないにしろ健康増進計画・食育計画など福祉の分</p>

(書面会議 意見)

J 委員	<p>野別計画と言いきれない計画も傘下になっているようにみえます。実際の位置づけとなっているのであれば「福祉」では舌足らずで「保健・福祉」又は「町民の生活に関する分野別計画」としたほうが正確かもしれません。</p> <p>○「福祉」の意味が分かりやすく説明してあり、良かった。 ○地域イメージのイラストも見やすい。</p>
B 委員	<p>② 第2章</p> <p>○増減比率では特定年度に対しての増減で、量的に比較していないため、あまり意味がないのではないのでしょうか。できれば県西地域の年齢三区分別人口の比較の方が良いのではないかと。</p>
C 委員	<p>○地区別人口状況や要介護（要支援）認定率の推移をのせたことにより町の状況が良くわかり良かったと思います。</p>
D 委員	<p>○17 ページ (9) 3 行目 「者が大きく増加」⇒「者が多く、増加…」 ○20 ページ (13) 性別・年代別自殺割合の状況のグラフを実数に差替えること。 ○21 ページ (15) 再犯率の町数を加えること ○22 ページ 「65 歳以上の割合が約 1 割程度」⇒「65 歳以上について約 3 割」 ○28 ページ 『地域福祉活動の担い手育成』特に同世代相互の絆づくりと共通課題への取り組みをバネにした活動を支援することが有効であり、また世代間交流も課題の一つです。 ○28 ページ最終行 「方を受け止められるよう」⇒「方や家族を丸ごと受け止められる」</p>
E 委員	<p>○10 ページ (2) 年齢三区分別人口の比較の 1 行目は年少人口の割合が 15.7%、グラフは 15.2%、どちらでしょうか。 ○13 ページ 地区別の人口は 10 ページの人口推移と差異があるため、地区別の方に資料(年)を入れたほうがよいのではないかと。 ○14 ページ 1 行目末、「全県下西地域」となっていますが「県西地域」ではないかと。 ○17 ページ (8) 1 行目小田原児童虐待相談所となっていますが、「小田原児童相談所」ではないでしょうか。 ○19、20 ページ (12) 性別・年代別自殺死亡率の 1 行目、「男性では 20 歳代と 40 歳代、50 歳代」とありますが、「20 歳代と 50 歳代、60 歳代」ではないのでしょうか。</p>
F 委員	<p>○地区別人口の状況、また年代別割合は把握しやすく他地区との比較もわかりやすく見れました。</p>
G 委員	<p>○10 ページ 開成町の現状 (1) 開成町の人口推移で令和 2 年の棒グラフが記載されていません。(各年 1 月 1 日とあるため)</p>

(書面会議 意見)

H 委員	○地区等のイラスト図に、みなみ地区の表記が見当たらない。みなみ地区の表記と自治会館の表記を追加してほしい。
I 委員	○15 ページのグラフについて、「認定総数の折れ線グラフ」「要介護度構成を（13 ページ下のような）100%を基準にする割合棒グラフ」の併用にしたほうが、認定者の伸びと重度化傾向の推移が一瞥できます。ただし、統計の出典もとの他計画の事情もありますので、できれば・とお考えください。 ○17 ページ 小田原児童相談所の所管地域の説明を加えてはいかがでしょうか。 ○19 ページ 自殺の統計が「発生地主義（必ずしも町民ではない）」である説明も必要かと思えます。 ○26～27 ページ 生声の質的調査結果の提示は素晴らしいです。ぜひ計画本稿に残してください。 ○28 ページ 2～4 項が、計画の3本柱（ひとづくり、地域づくり、しくみづくり）とリンクしています。町民が「この3点の課題」が「(第3章) 計画の3本柱に」なっているということが、一瞥できるよう、2～4 各項に「(3本柱) …づくりの必要があります。」と結句してはいかがでしょうか。
J 委員	○ (1) 町の人口は、令和2年〇月現在で1万8千人を超えている事実を載せることはできないのでしょうか。 ○ (2) 年齢3区分人口比較・・・文章中の15,7%とグラフの15,2%の相違 ○ (7) 子どもの現状を追加してありますが、令和2年をのせるべきでは。実際のときには載るのでしょうか。 ○ (11) 自殺死亡率の推移 (12) 自殺死亡率 (13) 自殺者割合の見方が非常に分かりにくい気がします。(11)の平成31年の5.64という値は10万人に対して5.64人ということでしょうか。そうすると(12)のグラフと合わないのではないのでしょうか。また、それぞれの説明書きとグラフが不一致だと思います。 ○ (18) 公共施設のイラスト みなみ地区が記載されていません。
A 委員	③ 第3章 ○『私たちがめざすもの』の5項目の内容はよくわかるし、【 】にある端的な語句で内容を表したのも良いと思います。ただ、この5項目について次からの基本目標や地域福祉計画の施策の中に、この語句が出てこないのも、どの施策につながっているのかがわかりにくいと思います。
B 委員	○『私たちがめざすもの』⑤の全体的意味が理解しにくい。
C 委員	○基本目標を3つにまとめたことでより明確になり良かったと思います。

(書面会議 意見)

D 委員	<p>○⑤の追加として「また、世代間交流を通して、お互いに生かし合う地域社会を作りだしていきましょう」</p> <p>○32 ページ 各基本目標 説明の文末に追加</p> <p>基本目標 1 の追加「世代間交流を通して、各世代文化を伝え合い、互いに生かし合う関係をつくり、視野の広い人材をつくります。」</p> <p>基本目標 2 の追加「各世代が協力し、生かし合う地域文化社会をつくります」</p> <p>基本目標 3 の追加「また、各世代が地域、学校、施設等で協力し合い、共通理解し合う体制づくりに取り組みます。」</p>
I 委員	<p>○31 ページ ③の【「予防的福祉」…】の言葉の組み合わせに違和感があります。「福祉」の言葉の定義（C f 孝橋・嶋田論争等の「社会体制の補完」か「社会体制の前提なし」か…古典的論争ですが）によるかと思いますが、予防「的」となっている、予防できるものは「保険制度」「社会保障」の範疇になろうかと思いますが。「リスクの軽減」、「孤立の回避」をイメージしたよい言葉はないでしょうか。</p> <p>○32 ページ 基本目標 2 について、住民どうしの支え合いの根源になるのは「(地域や隣人等への) 無関心からの脱却」だと考えます。無関心は地域福祉の「最大の敵」と言われます。地域づくりのメッセージとして織り込めないでしょうか。</p>
J 委員	<p>○「地域共生社会の実現」「私たちがめざすもの」の追加、良いと思います。</p> <p>○ 基本目標の 3 つ、わかりやすいです。</p>
A 委員	<p>④ 第 4 章</p> <p>○基本目標の施策 3 について、44 ページの上から 2 行目まではこの内容で良いと思いますが、その後の文章はカットし、表についても 35 ページにあるものと同じ項目にし、町の取り組みの後に持ってきた方が良いと思います。</p>
B 委員	<p>○基本目標 1～3 について</p> <p>目指す方向に対する具体的取り組みをどのようにするのか。</p> <p>例「・・・が重要です。」(他責) 「これは・・・の育成を図ります」(自責)</p> <p>「・・・が必要です。」(他責) 「これは・・・の育成を図ります」(自責)</p>
C 委員	<p>○再犯防止については身近にいるのであろう立ち直りをめざしてがんばっている人の心が折れないような寄り添える気持ちが持てる環境づくりが大事と思います。各種団体が目標を共有していける場が必要だと思います。</p>
D 委員	<p>40 ページ施策 2 ■現状・課題・目指す方向 6 行目</p> <p>関係機関、地域住民、行政、⇒関係機関、地域住民、行政、学校、幼稚園・保育園、事業所、社会福祉協議会等・・・</p>
H 委員	<p>○35 ページ 3 行目「一方、…新規の参加者が中々<u>出てこない</u>といった意見もみら</p>

(書面会議 意見)

	<p>れます。」については、「<u>出てこない</u>」といった意見ではなく、例えば「新規の参加者が出てこない状況の中で意見の固定化が見受けられます。」のようにしてはどうか。</p> <p>○36 ページの施策2は主に地域活動、37 ページの施策3は専門的な福祉人材としてのボランティア等を表現しようとしていると思うが、もう少しはっきりと差別化してほしい。</p> <p>○施策3での「専門的人材」にこだわって意見を言うと、下から2行目の「また、民生委員児童委員…」のところで、「各種相談員」の表現を「～等の相談員」や「…の専門性を活かし、資質の向上を図るための…」とか、ここでいう職員とは役場も含めて、町内に豊富に立地している病院や福祉施設の職員も含んでいると思って書いています。</p> <p>○42 ページ 4 行目 「要配慮者へ向けた…」ではなく、「また、要配慮者へ向けた…」とつないだほうが良いと思われる。</p> <p>○46 ページの6行目は、…の実現」と括弧で終わっているが、括弧の始まりがない。</p>
I 委員	<p>○35 ページ 5 年後の目標について、モニタリング項目の明確化、モニタリング項目についての評価指標をしっかりと設定していただければと考えます。</p> <p>統計数値だけでなく、(計画策定前アンケートができなかったので) 質の指標も必須ではないでしょうか。「質の指標に則して住民が答える声」を如何に省力化して把握するかについて、既存の把握の利用、活用により工夫していければと考えます。</p> <p>≪統計的数値指標 ⇒ 質の指標 (例) ≫</p> <ul style="list-style-type: none">・人材育成人数 (統計的数値指標) ⇒ 人材活用、場、機会 (その数値の質)・地域活動件数 (統計的数値指標) ⇒ 参加者数、参加層、相談などの機能の有無 (その数値の質) <p>○45 ページ 成年後見制度は「高齢者」「障がい者」を同様の比重で記載してください。財産保護と身上監護の2本柱をわかりやすく簡潔にいれたほうがよいと思います。</p>
J 委員	<p>○各目標の施策、判りやすいです。</p> <p>○現行計画での目標値設定は評価しにくいので、次期計画では施策ごとに達成状況を把握する目安となる数値を展開するとのことで、見やすく判りやすくなることを期待します。</p> <p>⑤ 第5章について</p> <p>⑥ 第6章について</p> <p>⑦ 資料編について</p> <p>意見なし</p> <p>≪その他≫</p>

(書面会議 意見)

A 委員	<p>○目次の中で、最初のページは「～します」となっているが、次のページは「します。」というように二通りとなっているので統一を。</p> <p>○目次の最初のページの第4章、基本目標1の施策1 福祉において⇒福祉について</p> <p>○目次の2ページの第5章、基本目標3の施策2について★印をカット</p> <p>○4ページの(2)の① 地域福祉計画 ⇒ 地域福祉計画の位置づけ</p> <p>○7ページの表 「福祉コミュニティプラン」のはじめに開成町をつける。</p> <p>○7ページの表 下二つの計画について 「第5次計画」「第3期計画」のように「計画」をつける。</p> <p>○14ページの本文の1行目 います。全県西 ⇒ います。県西</p> <p>○15ページの表 認定率の推移となっているが、単位が(人)となっており、表も人数で表しているので「認定数の推移」の方が良いのでは。</p> <p>○21ページの(14)の文章では100人と「人」を使っているが、表の単位は「件」なので統一を。</p> <p>○26ページの座談会の意見の9行目 案内をする同時に ⇒ 案内をする と同時に27ページの下から4行目 ここだけ自治会名が記載されていません。</p> <p>○30ページの下から5行目 をお持ちの方など ⇒ のある方など</p> <p>○33ページ本文の6行目 途上国のだけでなく ⇒ 途上国だけでなく</p>
J 委員	<p>○数値の入る項目では、直近の年度でほとんどが平成であり、中には29年度というものもあります。なかなか、難しいのかもしれませんが、令和3年度～7年度のプランなので、せめて令和元年度を入れて頂きたいと感じました。</p>

【事務局】

● 各委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。語句の修正のほか、不足する説明を追加いたします。また、グラフなどのご意見については可能な限り反映するようにいたします。

● D委員より第2章でご意見いただきました「20ページ (13) 性別・年代別自殺割合の状況のグラフを実数に差替えること」ですが、地域自殺実態プロファイルでは、公表可能と公表不可のデータがあります。今回、第2章で使用しているグラフは公表可能とされておりますが、本町は自殺者が5人未満のため年齢別グラフを用いることができません。公表する場合は区分を5人以上とすることが条件となっており、割合グラフを用いております。

● G委員より7ページの「障がい福祉計画・障がい児福祉計画」が「第6期・第2期」等となっていることについてご意見がありましたので、ご説明いたします。

「障がい者計画」は、障害者総合支援法に基づく市町村計画として策定しています。これらは平成18年度より3年を1期として策定しております。

(書面会議 意見)

「障がい児福祉計画」は、児童福祉法の改正（平成 30 年 4 月）により市町村障害児福祉計画として策定することとなりました。平成 30 年度より 3 年を 1 期として策定しております。

この 2 つの計画が並列で掲載されておりましたので、わかりにくい表記であったと思われます。

● 第 3 回会議は 12 月中旬を予定しております。新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては、引き続き書面会議とさせていただきます。ご了承ください。